

# Labo News

## らほ ニュース

発行所 社団法人愛知県臨床衛生検査技師会  
 住所 名古屋市中村区名駅5-16-17  
 花車ビル南館 〒450-0002  
 電話 052-581-1013  
 F A X 052-586-5680  
 ホームページ <http://www.aichi-amt.or.jp/>  
 Eメール [aamt@aichi-amt.or.jp](mailto:aamt@aichi-amt.or.jp)  
 取引銀行 三菱東京UFJ銀行 柳橋支店  
 普通口座731-677  
 発行人 松本 祐之  
 編集人 堀 隆彦

## No.367 目次

- ◆公益社団法人愛知県臨床検査技師会  
定款案承認される…………… (2)
- ◆総務部門だより…………… (3)
- ◆平成24年度学術部企画  
スキルアップ研修会のお知らせ…………… (4)
- ◆第44回愛知県糖尿病療養指導研究会  
学術講演会…………… (6)
- ◆尾張東地区研修会…………… (6)
- ◆基礎講座…………… (6)
- ◆第14回愛知県医学検査学会のご案内 …… (7)
- ◆AiCCLS 愛知県臨床検査標準化協議会  
通信 (第13回) …………… (8)

## 第14回愛知県医学検査学会開催にあたり

学会長 古川 博

愛知県臨床衛生検査技師会は、昭和25年に名古屋医学実験技術会として創立され、昭和46年に愛知県臨床検査技師会となりました。昭和53年には現在の名称となり平成22年に技師会創立60周年を迎へ現在に至っています。また、昭和62年には社団法人を設立し、平成23年には法人設立25周年記念式典が挙行されました。さらに来年には社団法人から公益社団法人を取得する予定となっています。このように組織が大きく変革していく中、西三河地区担当の第14回愛知県医学検査学会が、この節目に当たる年に開催できることを光栄に思います。公益社団法人としての事業目的の一つに「精度の高い臨床検査を提供するための専門的知識・技能の普及や人材の育成を行う」とあります。これを踏まえ医療の中における臨床検査技師は将来どのように進んでいくべきかを取り上げ学会企画を立案しました。

学会テーマは「さらなる飛躍をめざして」とし、今後若手技師が増え、明るい未来を築き伝えていくためにもサブテーマを愛知県にかけて「愛を育み、知を伝える」としました。それを実現していくためにシンポジウムは、「スペシャリスト、ジェネラリストを考える」とし、亀田総合病院臨床検査部の大塚喜人先生に臨床検査技師がどのように診療支援しチーム医療に携わっていただけるかを講演していただく予定にしています。同時に診療支援に必要な事やその問題点なども取り上げディスカッションする予定です。慣例では、公開講演も企画することになってはいますが、公益社団法人取得にともない記念講演会として愛臨技が担当する事となり盛大に開催されます。どのような講演が聞けるかは期待したいと思います。

最後となりましたが、開催は平成25年6月15日(日)「刈谷市総合文化センターアイリス」、祝賀会・懇親会は「Dスクエア (株式会社デンソー)」で行います。将来を担う若手技師はもちろんのこと管理職までもが参加出来る全員参加型学会となるよう実行委員全員が努力して準備を進めてまいりますので多くの発表、参加をお待ちしております。

# 公益社団法人愛知県臨床検査技師会定款案承認される —臨時總會開催報告—

総務担当副会長 相山 広美

去る、8月25日(土)午後3時から4時30分まで、愛知県産業労働センターウイंकあいちにおいて平成24年度臨時總會を開催し、公益社団法人移行認定のため、移行後の定款および役員をご審議いただきました。出席者は委任状出席者1960名を含め2069名で、議長に加藤由樹(知多市民病院)、赤座久美子(名鉄病院)両氏を選出し議事が進められました。第1号議案「定款変更案」の審議時、議案書送付後の定款案の変更があったことについて、会員より委任状の有効性についての質疑があり、資格審査委員兼議事運営委員の緊急協議が行われ、その結果、緊急動議として出席者に諮問、審議し承認を得ることになりました。議長より、議案書送付後の定款案の変更を含め審議を進めることについて採決が行われ、挙手による表決により承認が得られました。その後、相山より定款変更の必要性について説明を行い、議案書送付後の定款案の変更について説明後、「定款変更案」を提案しました。定款変更案について具体的な質問として①当会の目的から医療という文言をなくした理由②名誉会員を規定した理由③不可欠特定財産を規定した理由④公告の方法を電子公告ではなく掲示する方法とした理由の4つの質問があり、

松本会長から各質問に対し回答し、質問者の了解を得ました。本議案について挙手で評決を実施した結果、賛成2047票、反対0票で、定款変更のための定足数(総正会員数の3/4)1980票を満たしており、「定款変更案」は承認されました。第2号議案「平成25年度役員選任」、第3号議案「平成25年度役員推薦委員選任」については、鈴木役員推薦委員長からの提案の後、審議の結果、賛成多数で承認され、第4号議案「その他」の議案では「公益社団法人愛知県臨床検査技師会理事及び監事に対する報酬等の支給の基準」について提案があり、審議の結果、賛成多数で承認されました。

以上、すべての議案についてご承認いただきましたが、今回の總會では多くの質疑をいただき、役員の説明だけでは足りない部分を補足していただく結果となり、出席会員のみならずには内容を十分理解していただけることになったと思います。また、總會の中断、資格審査委員兼議事運営委員の緊急協議、出席会員への緊急動議と、今までに無い経験をしましたが、当会にとって大きな経験であり、公益社団法人への大きな一歩となる總會となりました。



## 総務部門だより

総務部門は、庶務部および会計部で構成されています。担当副会長と4名の理事、2名の事務員さんで担当しております。当會会務の根幹を為す他の2部門、学術部門と渉外部門の活動を事務処理面で、そして公認会計士と契約し会計を支えています。

総務部門は6年前まで生涯教育担当業務も担っており、組織部活動や地区活動、関連団体活動の生涯教育行事番号取得、手書き受付用紙の作成、生涯教育登録端末の手配等々に結構追われ、時には、端末の手配が間に合わず、本職である検査技師業務は有給休暇を取ってお届けするという事もありました。現在当業務は組織部に移行されており、組織部長も同じような思いをされているのではと思います。

総務部門の大きな業務の一つとなった公益法人取得に向けての取り組みは、公益法人制度改革に対応すべく、2008年12月1日の法律施行から5年以内の新制度に移行しなければならぬため、公益取得対策委員会を設けて準備を行って参りました。足かけ5年にわたる準備作業、主務官庁との相談・打ち合わせを経て、ようやく本年9月1日に公益認定の申請書を提出することが出来ました。

庶務部は、総会や理事会をはじめとする各種会議の準備や、会報・会誌の発送業務、会員の掌握、関係各所・各団体から届けられる文書の収受および公文書等各種文書の発行・発送、会員の表彰関係、会員からの問い合わせ対応など、日々多くの業務を行っております。実務としては、総務部門所属役員は本業がありますので、ほとんどの業務を事務員さん

がこなしてくれています。数年で担当交代する理事よりも、事務員さんの方がはるかに業務を把握しており、役員はかなりの部分で助けられています。

会計部では当會が適正かつ健全な運用を行うべく定められた業務を円滑に遂行するための事務業務を行っております。大きな業務のひとつは、会員の皆様方からの会費をはじめとする資産の中長期に渡る財政の確立に努め有効に活用する事です。それに基づき年度予算の編成にあたりとともに、決算を行い理事会承認後、総会へ提案します。毎月の経理状況も理事会に報告しています。日々の会計簿の作成保持や現金の保管出納に関する事は、事務員さんの協力があり、公認会計士さんの指導のもと適正に行われています。

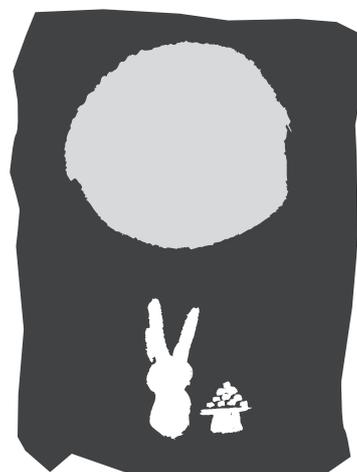
現在では、インターネットの発達に伴い、事務員さんや公認会計士さんとの業務連絡や書類等の受け渡しがリアルタイムかつ簡単に行えるようになり、会務遂行がたいへん円滑になりました。総務部門の担当理事を経験された諸先輩方による当時の経験談をお伺いすると、インターネットの普及していなかった時代には、たいへんご苦勞をされていたとのことです。コンピュータ環境や通信環境は、日進月歩で進化しています。これらを有効に活用し、迅速・円滑・効率化を図った会務運営を今後も目指したいと考えております。

事務所対応時間：月～金曜日

午前10時から午後4時

平成24年9月10日現在 正会員数2,695名

※求人情報、理事会・常務理事会議事録はホームページを御覧いただくか、事務所へお問合せください。



## ♪ 平成24年度学術部企画 スキルアップ研修会のお知らせ ♪

6月の新人サポート研修会に続き、愛臨技学術部企画 第2弾として、「循環器疾患」をテーマにしたスキルアップ研修会を開催します。

循環器病態を広い視点で理解し、日常検査におけるスキルを養うプログラムを企画しましたので、この機会に是非参加し、循環器疾患アプローチのための総合的な知識と技術を習得しましょう。

日 時：平成24年11月25日(日) 9:00～16:30  
会 場：名古屋大学医学部 基礎医学研究棟4階 第4講義室  
(JR・地下鉄 鶴舞駅下車 徒歩8分)  
〒466-0065 愛知県名古屋市昭和区鶴舞町65  
☆事前登録制にて開催しますので、FAXで申してください。(先着順)  
参加費：1000円 当日徴収  
その他：当日テキストおよび関連資料を配布します。  
生涯教育：「基礎教科」20点(臨床検査の基礎)  
共 催：東芝メディカルシステムズ株式会社

### プログラム

9:00 受付開始  
9:15 開催挨拶とオリエンテーション 豊田厚生病院 臨床検査技術科 中根 生弥  
9:15～12:30 研究班講演  
①生物化学分析検査研究班「循環器領域における生化学的マーカーの役割」  
藤田保健衛生大学病院 臨床検査部 北川 文彦  
司会 刈谷豊田総合病院 臨床検査科 伊藤 英史  
②生理検査研究班「虚血性心疾患を診る」  
小牧市民病院 臨床検査科 余語 保則  
司会 豊川市民病院 臨床検査科 滝野 好美  
③病理細胞検査研究班「心臓の病理・病態学」  
江南厚生病院 臨床検査技術科 千田 美歩  
司会 小牧市民病院 臨床検査科 藤田 智洋  
12:45～14:00 ランチョンセミナー  
「足をエコーで診てわかること -足から判る心疾患、腹部疾患-」  
関西電力病院 臨床検査部 佐藤 洋  
司会 愛知淑徳大学 健康医療科学部 前野 信久  
14:00～14:15 休憩および準備  
14:15～15:15 教育講演 「心臓リハビリテーションの最近の話題」  
聖マリアンナ医科大学 循環器内科講師 長田 尚彦  
司会 中部大学 臨床検査技術教育・実習センター 野田 明子  
15:15～16:15 特別講演 「肺高血圧症の診断を考える」  
名古屋大学大学院医学系研究科 肺血圧先端医療学寄附講座教授 近藤 隆久  
司会 名古屋大学医学部附属病院 医療技術部臨床検査部門 梶浦 容  
16:15～16:30 閉会式

# (社)愛知県臨床衛生検査技師会宛

F A X 番号 (052) 586-5680

## 平成24年度 スキルアップ研修会申込書

日 時：平成24年11月25日(日) 9：00～

会 場：名古屋大学医学部 基礎医学研究棟4階 第4講義室

参加費：1000円

締 切 り：平成24年10月31日(水) (定員になり次第締め切ります)

問 合 せ：豊田厚生病院 臨床検査技術科 中根 生弥 (0565) 43-5000 内線7189

施設名：	申込責任者：	電話： F A X：
------	--------	---------------

参加者名		会員の区別	経験年数	担当分野	
例	愛臨技 太郎 230057	<input type="checkbox"/> 会員 <input type="checkbox"/> 申請中 <input type="checkbox"/> 非会員	5年	<input type="checkbox"/> 検体系検査 管理業務	<input type="checkbox"/> 生体系検査 その他
1		<input type="checkbox"/> 会員 <input type="checkbox"/> 申請中 <input type="checkbox"/> 非会員			
2		<input type="checkbox"/> 会員 <input type="checkbox"/> 申請中 <input type="checkbox"/> 非会員			
3		<input type="checkbox"/> 会員 <input type="checkbox"/> 申請中 <input type="checkbox"/> 非会員			
4		<input type="checkbox"/> 会員 <input type="checkbox"/> 申請中 <input type="checkbox"/> 非会員			
5		<input type="checkbox"/> 会員 <input type="checkbox"/> 申請中 <input type="checkbox"/> 非会員			

## 第44回 愛知県糖尿病療養指導研究会 学術講演会

テーマ：糖尿病の合併症(足病変と歯周病)を考える  
－今日からできるフットケアと口腔ケア－

日時：平成24年11月25日(日) 13:00～16:30

場所：名古屋大学医学部附属病院 3階講堂

講演1：「糖尿病足病変のアセスメントと予防的ケア」

碧南市民病院 糖尿病看護認定看護師  
岡田 照代

講演2：「糖尿病と歯周病の関係」

岡崎市民病院 歯科衛生士 向井沙耶香

司会：碧南市民病院 高山由美子

演習1：足のアセスメントをしてみよう

演習2：歯磨き体験をしてみよう

2つのグループに分かれ演習1と演習2を交互に体験していただきます。

ファシリテーター：

岡崎市民病院 看護師 高山千恵美  
看護師 石松 厚子  
歯科衛生士 向井沙耶香

碧南市民病院 看護師 高山由美子

司会：碧南市民病院 看護師 岡田 照代

★本講演会は、「日本糖尿病療養指導士認定更新のための研修会」として第1群1単位、第2群1単位が認定予定です。どちらかを選択してください。

【参加費】 愛知県糖尿病療養指導研究会会員無料、その他参加者1,000円

## 尾張東地区研修会

日時：平成24年10月27日(土) 15時～16時30分

場所：愛知県がんセンター中央病院

テーマ：「要介護高齢者の糖尿病管理」

講師：労働者健康福祉機構 旭労災病院

糖尿病内分泌内科部長 小川 浩平

司会：旭労災病院 中野 優子

内容：超高齢化社会に入っているわが国では、全医療の中での生活習慣病の割合が増加しています。

なかでも糖尿病患者の増加は、合併症により要介護状態に陥る症例が多く深刻な問題となっています。

もちろん、若年糖尿病患者の管理も大きな課題ですが、最近は認知症や脳血管障害を発症して自己管理が出来なくなってきた糖尿病患者も多くみうけられる事から、彼らを適切にサポートしていくシステムと考え方について、旭労災病院 糖尿病内分泌内科部長小川 浩平先生にお話していただきます。

## 基礎講座

### 病理細胞検査研究班

専門教科：20点

日時：平成24年12月16日(日) 9:00～17:00

場所：藤田保健衛生大学

テーマ：「免疫染色」

講師：藤田保健衛生大学病院 平澤 浩  
名古屋市立大学 滝野 寿  
公立陶生病院 柚木 浩良

実務委員：病理細胞研究班 班員

司会：西尾市民病院 中村 広基  
東海市民病院 吉本 尚子

定員：40名程度

参加費：2,000円 当日徴収(県外会員2,500円)

詳細：今回は、免疫染色用手法の実習を主なテーマに、精度管理やLBCの免染など、免疫染色に関するさまざまなレクチャーを企画しております。是非ご参加ください。尚、詳細はホームページにてご確認ください。

申込：愛臨技病理細胞検査研究班ホームページよりお申し込み下さい。

申込締切：11月30日

連絡先：西尾市民病院 臨床検査室病理

中村広基

TEL 0563-56-3171 内線 2260

# 第14回 愛知県医学検査学会のご案内

開催日時：平成25年6月16日(日)

抄録締切：平成25年1月31日(木) 必着

会 場：刈谷市総合文化センター・アイリス  
〒448-0858 愛知県刈谷市若松町2-104  
TEL：0566-21-7430  
JR東海道本線・名鉄三河線 刈谷駅南  
口よりウイングデッキ直結徒歩3分

演題申込方法：メールでの申し込みのみとさせていただきます。下記の申込事項を記入し、送信して下さい。

受 付：1F小ホールホワイエ  
9時00分開始

- ① 地区名 (技師会員のみのみ)
- ② 施設名
- ③ 演題名
- ④ 発表者名
- ⑤ 電話番号
- ⑥ E-Mail (携帯アドレス不可)

担 当：(社)愛知県臨床衛生検査技師会 西三河地区  
学 会 長：古川 博 (藤田保健衛生大学病院)  
副学会長：中村 清忠

申込先E-Mail：14aichi\*kosei.anjo.aichi.jp  
(入力時には\*を@に変更して下さい)

(医療法人豊田会 刈谷豊田総合病院)  
実行委員長：長谷川勝俊 (藤田保健衛生大学)  
事務局長：濱子 宗子 (碧南市民病院)

演題を申し込まれた方には、演題登録確認メールと抄録テンプレートを送信します。

学会テーマ：「さらなる飛躍をめざして」  
－愛を育み、知を伝える－

申込後、1週間以内までに演題登録確認メールと抄録テンプレートが届かない場合は、連絡先にお問い合わせ下さい。

学会内容：一般演題発表、ランチョンセミナー  
公開シンポジウム

そ の 他：学会終了後、(社)愛知県臨床衛生検査技師会定期総会および祝賀会・懇親会を予定しております。

関連企画：特別公開講演

(社)愛知県臨床衛生検査技師会定期総会：  
刈谷市総合文化センター・アイリス 1F  
小ホール

参加費：2,000円

祝賀会・懇親会：Dスクエア (株式会社 デンソー)

参加資格：資格は問いません。他職種や賛助企業の方などを広く募集します。

連 絡 先：第14回 愛知県医学検査学会事務局  
抄録担当：濱口 幸司 (安城更生病院)  
Tel：0566-75-2111 (内線：6398)  
E-Mail：14aichi\*kosei.anjo.aichi.jp  
(入力時には\*を@に変更して下さい)

演題申込期限：平成24年12月25日(火) 必着

# AiCCLS

## 愛知県臨床検査標準化協議会

### 通信 (第13回)

愛知県臨床検査標準化協議会 (Aichi Committee for Clinical Laboratory Standardization : AiCCLS) は、愛知県下の医療施設への臨床検査標準化の啓発活動を軸とした質の高い検査結果の共有維持を目的として、活動しています。

今回は、新しく発刊された刊行物のうち、「正しい検査結果を得る為の 採血の注意点」リーフレットについてご紹介いたします。

正しい検査結果を得る為にはまず採血の段階から正しい手順で行う必要があります。採血の順序、採血時の注意点、採血器具や採血管の種類など、わかりやすく説明したリーフレットを作成しましたので、是非活用していただきたいと思えます。

詳しい内容、購入方法については、愛知県臨床衛生検査技師会HPの、臨床検査標準化情報をご覧ください。

(AiCCLS : 愛知県臨床検査標準化協議会)

正しい検査結果を得る為の

## 採血の注意点

「臨床化学検査の手引書—分析前段階—」より

AiCCLS 愛知県臨床検査標準化協議会

leaflet “採血の注意点”

採血を正しい手順で行わないと、検査結果に思わぬ影響を与えてしまうことがあります。正しい手順で採血を行い、正しい検査結果が得られるようにしましょう。

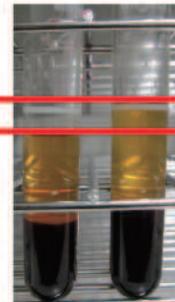
### 1. 採血の順序

各採血管の間での内容物の混入 (コンタミネーション) による検査結果への影響を防ぐため、真空管採血では以下の採血順序が推奨されています。

- ①凝固検査用クエン酸入り採血管
  - ②赤沈用採血管
  - ③血清用採血管 (プレーン管)
  - ④ヘパリン入り採血管
  - ⑤EDTA入り採血管
  - ⑥血糖阻止剤入り採血管
  - ⑦その他
- 注 (但し、採血順序に関する明確なエビデンスはありません。)  
JOCCLS「標準採血法ガイドライン」(GP4-A2)

### 凝固促進剤の影響

血清用採血管には凝固促進剤が含まれている場合が多く、この採血管を採血した後、凝固検査用の採血を行うと、ゴムスリーブに付着した凝固促進剤が血液中に混入し、凝固検査値に影響を与える可能性があります。



### 翼状針を用いる場合の注意点

**翼状針を用いた場合、ルート内部の空気のために採血量が不正確になります。**

(右写真参照)

ルート内部の空気が採血管に入っていきますので、その分、血液が不足してしまいます。凝固検査などのように正確な採血量が必要な時は、2本目以降に採血しましょう。

「正しい検査結果を得る為の採血の注意点」から抜粋